

平成30年度 呉羽高等学校アクションプラン - 5 -

重点項目	特別活動（図書館活動の充実）	
重点課題	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の読書意欲を高め、豊かな知性と感性を育む。 学習情報センターとしての機能の充実を図り、生徒の利用を促進する。 音楽コースがある進学校という本校の特色を生かした図書館運営を目指す。 	
現状	<ul style="list-style-type: none"> 読書が「好き・どちらかといえば好き」である生徒は75%程度いるものの、1週間の読書時間が0分と答える生徒が60%ほどである。日々の活動の中で読書の優先順位が低いと思われる。 学習情報センターとして利用に加えて心の居場所として図書館のより一層の活用が望まれる。 	
達成目標	② 年間の読書冊数3冊以上の生徒の割合	② 1ヶ月平均の図書館入館者数（のべ人数）
	70%以上	500人以上
方策	<ul style="list-style-type: none"> 1・2学年を対象に「読書の時間」を年2回設定し、「社会を知るための読書」をテーマとして新書やブックレットに親しむ機会を設ける。 1・2学年を対象に「HR読書会」を年1回実施し多様な考え方を認め合うとともに、読書へのきっかけ作りとする。（今年度もビブリオバトルを実施する予定） 全学年を対象に「小論文対策図書案内」を作成し進路実現の支援を図る。 読書感想文・感想画コンクールを実施する。 図書委員がテーマ展示や図書館フェアを企画・実施し、併せて生徒が共感できるターゲットを設け、それに即した本の紹介をする。 「図書館だより」を年10回程度発行し、推薦本・新着図書・学習関連本などを知らせる。 新着本やテーマ本の配置を工夫し、本が生徒の目に入りやすいように配置する。 	<ul style="list-style-type: none"> 蔵書を充実させるとともに、本以外のメディアにおいても積極的な収集を図り、多様なニーズに応えられる資料収集に努める。 各教科・学年・各分掌・部活動との連携を図り、積極的な図書館の利用を推進する。 図書委員会の活性化を図り、図書館フェア・店頭選書など各行事に主体的に取り組みせ、一般生徒の図書館への関心・理解を深める。 年2回程度教養講座を開催し図書委員以外の幅広い生徒の参加を呼びかける。 本校のホームページに図書館からのお知らせ欄をつくり、新着本の紹介や図書館だよりを掲載する。 図書館入口前のスペースを有効に活用するとともに、図書館内部のレイアウトを利用者の目線に立って考え工夫する。 新着本等を生徒昇降口付近に展示し、本に関する関心を高めるようにする。

(評価基準 A:達成した B:ほぼ達成した C:現状維持 D:現状より悪くなった)